

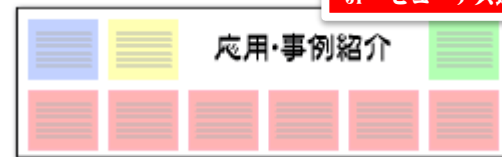
# 【こんな利用方法があります。】

---

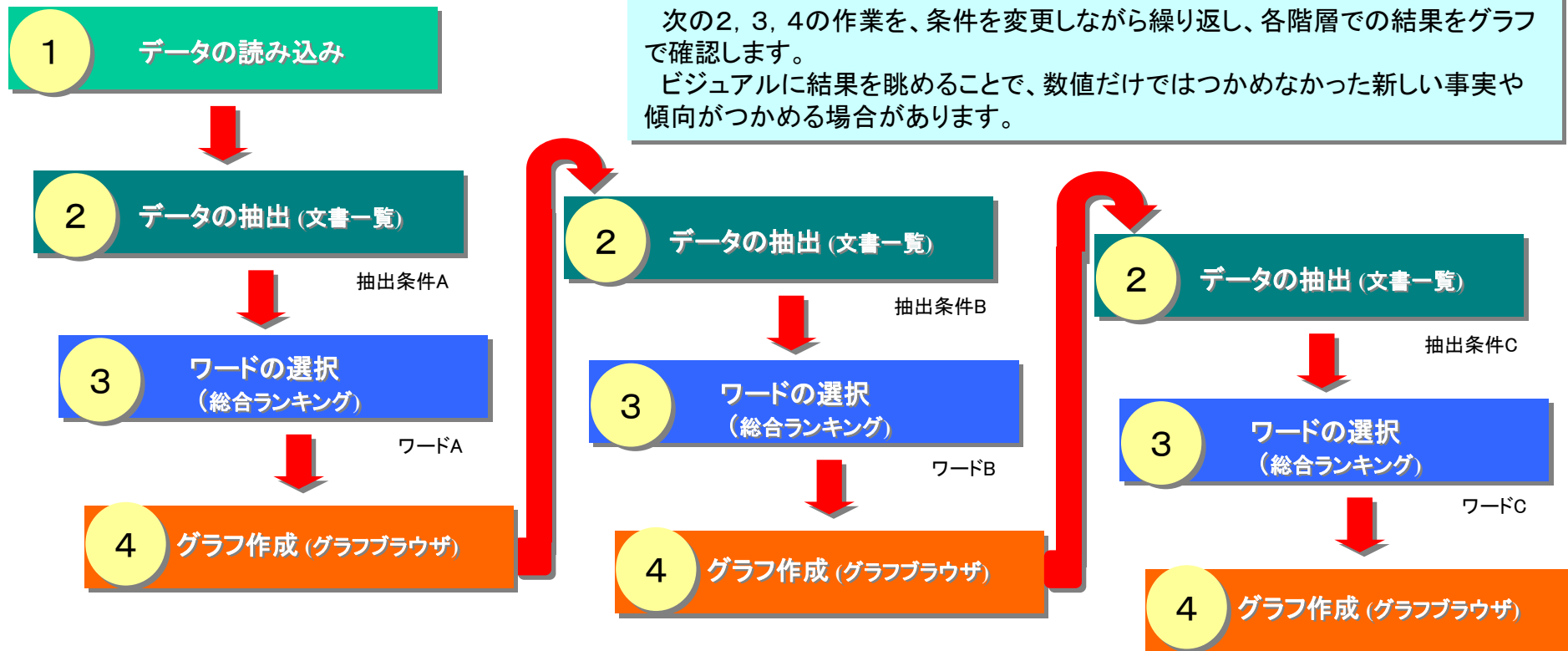
- ☑ ぱっとマイニングの基本的な使い方



# 基本作業フロー 1



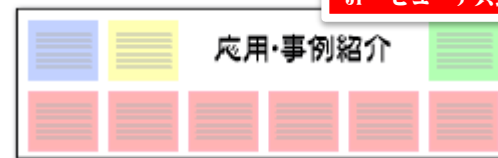
## ▶ 膨大なデータから、新しい側面を発見する！！ 【 ぱっとマイニング 基本作業フロー例 】



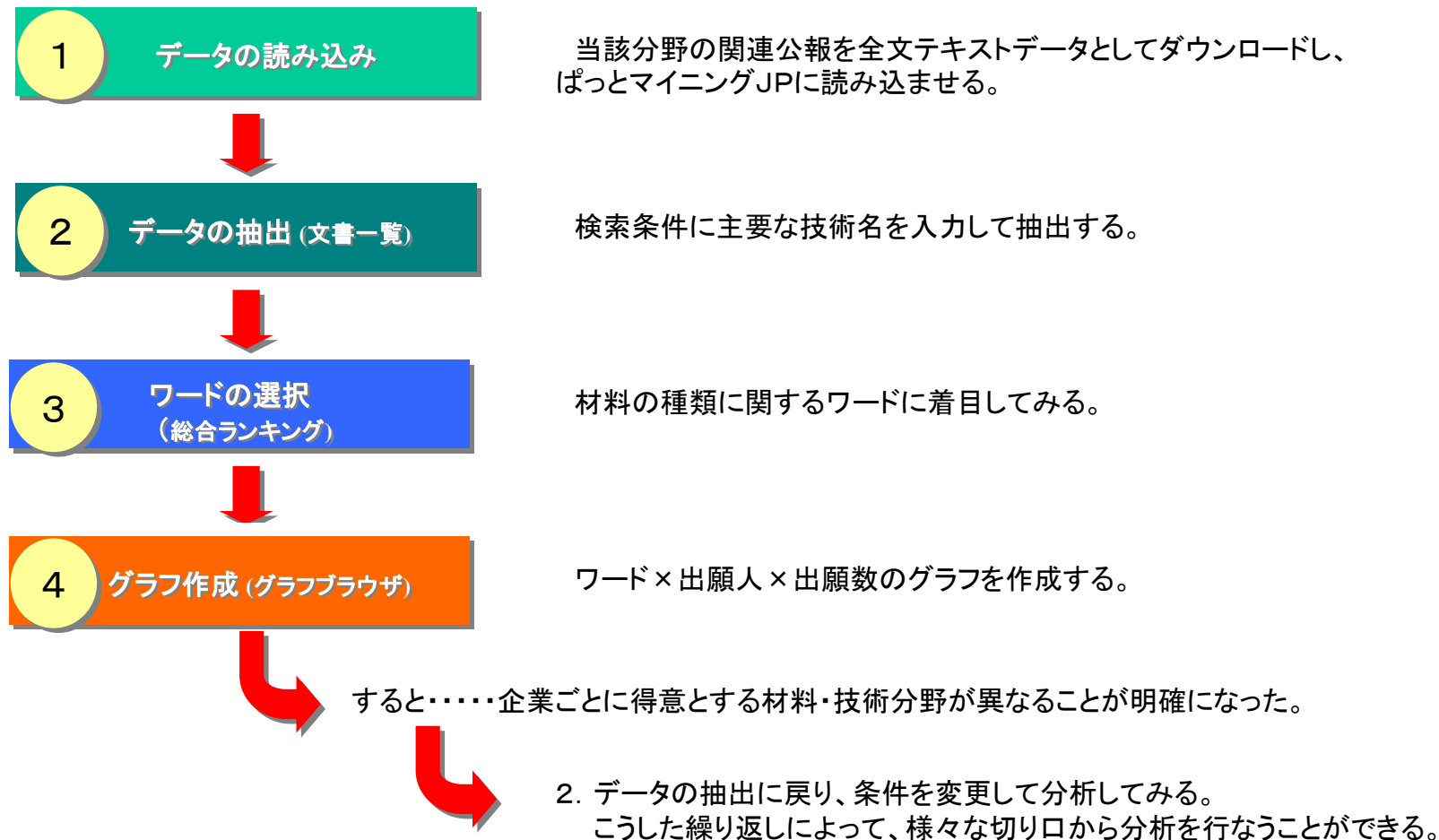
結果を確認しながら、段階的に書面やワードを絞り込んでいくことによって、精度の高い分析作業を行なうことができます。



## 基本作業フロー 2



▶ たとえば・・・こんな活用方法は！？ 【ぱっとマイニング 基本作業フロー例】





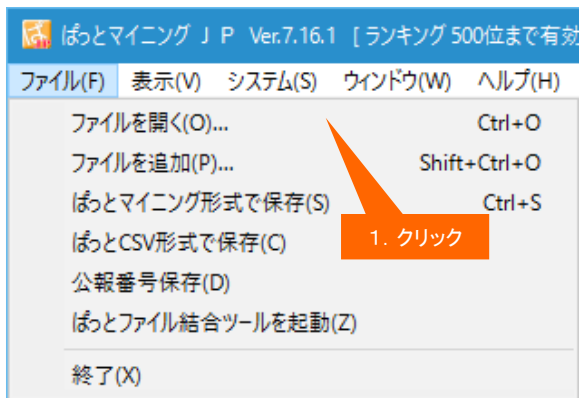
# 基本作業フロー 3

1

## データの読み込み



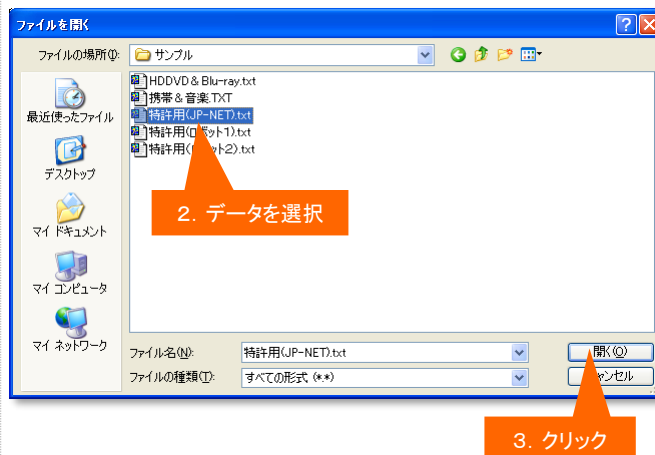
### ▶ ファイルを開く



ぱっとマイニングJPを起動すると、[ファイルを開く]のウィンドウが現れます。

メニューバーの[ファイル(F)] から [ファイルを開く(O)]をクリックして、ファイルを指定して開くこともできます。

### ▶ ファイルを選択する



分析したいファイルを指定すると、データの読み込みを開始します。

複数のファイルを指定して、一度に読み込ませることも可能です。

### ▶ ここでの注意ポイント！

#### ■ ぱっとマイニングJPで扱えるデータ

ぱっとマイニングJPが分析対象として読み込むことができるのは、JP-NET形式のテキストデータとCSV形式のデータです。

オプションをお申し込みいただくと、JP-NETの海外データベースのCSV形式データの読み込みにも対応します。

#### ■ ファイルを読み込む

メニューバーの[ファイル(F)] から読み込みを行なう場合は、[ファイルを開く(O)]をクリックしてファイルを選択します。

#### ■ データの追加読込

読み込むファイルの選択時に、複数のファイルを選択することができます。

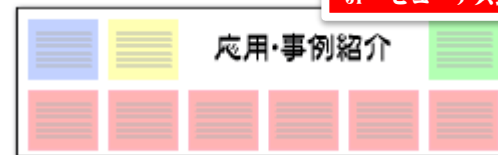
また、すでにファイルが読み込まれている状態でも、メニューバーの[ファイル(F)]→[ファイルを開く(O)]をクリックすると、「追加読込」か「新規読込」のどちらの操作を行なうかの選択画面が開きます。「追加読込」を選択すると、ファイルを追加で読み込むことができます。



# 基本作業フロー 4

1

## データの読み込み



### 『ワード分解を使用する』にチェックを入れる

文書データの確認

【現在のワード分解モード：ワード分解を使用】

☒ ワード分解を使用(E)    ☐ ワード分解を使用すると、キーワードランキングや各種分析時のワード一致など、キーワードに関連した機能をご利用いただけます。

☐ ワード分解を使用しない(D)    ☐ "不使用"を選択すると、解析処理を行わなくなるため、バックグラウンドで実行される負荷を軽減することができます。

1. チェックを入れる

☐ 読み取り    ☐ 読み込み後に引用情報を抽出

☒ ワード分解の完了時に総合ランキングを自動集計

ファイル名	ファイル形式	文書数	ファイル日時
C:\村橋フォルダ\ぱっとマイニング関係\サンプルデータ\自動運転(デモ用データ).csv	ぱっとCSV形式	1021	2015/05/15 19:11:13

表示項目選択

☒ 全て表示

全チェック    全解除

☐ 出題人  
☐ 発明者  
☐ 代理人  
☐ CPC説明  
☐ IPC説明  
☐ F説明  
☐ Fターム説明  
☐ ファセット説明  
☐ 文書中の引...  
☐ 文書中の引...  
☐ ユーザーメモ1  
☐ ユーザーメモ2  
☐ ユーザーメモ3  
☐ ユーザーメモ4

出題人	発明者	代理人	CPC説明
1 株式会社トキメツ伊藤 公明	竹内 進 (000007935)		
2 株式会社間組 島山 修 仁志	酒井 一 (000008151)		
3 トヨタ自動車株式会社 鈴木 敏彦	吉田 研二 (100075258)		
4 日本道路株式会社 坂本 安弘	三好 保男		
5 株式会社安川電機 久米 常生 岩瀬 憲昭			
6 株式会社東芝 (OC) 藤 洋 男	佐藤 一雄		
7 マツダ株式会社 (佛国) 哲朗 原 寿広	前田 弘		
8 マツダ株式会社 (土井) 歩 一郎 北山	前田 弘		
9 マツダ株式会社 (佛国) 哲朗 原 寿広	前田 弘		
10 マツダ株式会社 (吉岡) 透	前田 弘		

このファイルを読み込みますか？    はい(Y)    いいえ(N)

横にスクロールして内容を確認することが出来る

2. クリック

3. クリック

### ここでの注意ポイント！

#### ■ 選択ファイルの確認

読み込むデータを選択すると、文書データの確認ウィンドウが表示されます。選択したファイルが間違っていないかどうか、ファイル名やファイル形式などを確認してください。

#### ■ ワード分解モードの選択

「ワード分解を使用する(E)」に、チェックが入っているかどうかを確認します。「ワード分解を使用しない(D)」を選択すると、パソコンへの負荷は少なくなりますが、ワード関連の機能が利用できませんのでご注意ください。

#### ■ データの追加読み込み

文書データの確認ウィンドウで『はい』をクリックすると、【ぱっとマイニングJP】にファイルが読み込まれます。確認ウィンドウが出た場合は、『はい』をクリックしてください。

確認

？    ワード分解が完了しました。総合ランキングを再集計しますか？

☐ 次回から確認せずに実行する(E)

はい(Y)    いいえ(N)



# 基本作業フロー 5

## 2 データの抽出 (文書一覧)



### 文書一覧の抽出条件入力欄にワードを入力する

### ここでの注意ポイント！

1. 抽出条件を入力する

2. クリック

候補の検索をし、抽出をすることが出来る

クリックすると選択候補が表示される

AND または OR または NOT の選択が可能

横にスクロールして内容を確認することが出来る

総合ランキング

抽出条件

検索項目

グループ有効

条件

AND

OR

NOT

抽出実行

表示項目選択

全チェック反転

全チェック解除

全文書 3348件

抽出

なし

ワード分解

ランキング

最新

全文書 3348件

抽出

なし

横にスクロールして内容を確認することが出来る

### 文書抽出の基本手順

1. 検索項目をプルダウンで選択します。
  2. 条件入力欄に、ワードを入力します。
  3. 『抽出実行』ボタンをクリックします。
- ※『解除』ボタンをクリックすると、抽出前の状態に戻ります。

### 入力方法

条件入力欄では論理演算子(+ & ( ))が利用できます。たとえば 電波+アンテナ と入力すると、《電波またはアンテナというワードの最低限どちらかひとつを含む文書》を抽出することができます。

電波 & アンテナ と入力すると、《電波とアンテナの両方のワードをどちらも含む文書》を抽出することができます。

検索は、『文字一致』(部分一致)と『ワード一致』(全部一致)が選択できます。

### 優先順位

演算子毎の検索順位は、第一優先 AND、NOT 第二優先 ORとなります。

※ 抽出条件の入力枠には最大43,000バイト、日本語にすると2万1千文字程度の入力が可能



# 基本作業フロー 6

3

## ワードの選択 (総合ランキング)



▶ 文書抽出後、『ランキング再集計』ボタンをクリック！

▶ ここでの注意ポイント！

### ■ ランキング再集計

文書を抽出した後、総合ランキングの『ランキング再集計』ボタンをクリックすると、抽出・選択された文書だけを対象にした総合ランキングが表示されます。

### ■ 注目したいワードにチェックを入れる

総合ランキングの中から、注目したいワードを選択し、チェックをつけます。

デフォルトで上位20位までのワードに自動的にチェックが入るので、ワードの数を少なくしたい場合には、先に『全解除』ボタンをクリックして、すべてのチェックをはずしてから、必要なワードにだけチェックを入れるとよいでしょう。

マウスで複数行を選択し、一箇所にチェックを入れると、選択した行のすべてにチェックが入ります。

総合ランキング

1. クリック

2. チェックをつける

3. クリック

分析条件

ランキング再集計(R)



## 基本作業フロー 7

### 4 グラフ作成 (グラフブラウザ)

#### 応用・事例紹介

#### 総合ランキングと連動したグラフ作成

1. クリック

2. クリック

3. プルダウンで条件を変更することができる

4. クリック

5. グラフをクリックすると、グラフ内文書一覧が起動する

総合ランキング

グラフ作成(E)

#### ここでの注意ポイント！

##### ■ 選択ファイルの確認

グラフ選択ツリーをダブルクリックするか、『グラフブラウザ』ボタンをクリックすると、グラフがすぐに描画されます。

##### ■ 総合ランキングとの連携

グラフの軸にワードを選択した場合は、総合ランキングでチェックを入れたワードが対象となります。

文書数は、文書一覧で抽出・選択した文書が対象となります。

##### ■ プルダウンで条件変更が可能

『種類』『集計対象』『X軸』『Y軸』はプルダウンで選択することができます。選択後、『グラフ作成(E)』ボタンをクリックしてください。タイトルの変更も可能です。

##### ■ グラフ画像の変形・保存

グラフ画像は、拡大縮小、タテヨコ比の変更がマウス操作で行えます。所望のサイズに変更後、クリップボードにコピーしたり、画像データとして保存することができます。